

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 聖恵会	代表者	遠部敦也	法人・事業所 の特徴	竹原市唯一の小規模多機能型居宅介護事業所です。介護が必要となられても地域の人々とともに地域の中で安心して生活が送れるように支援しています。通いを中心に訪問、泊りを組み合わせたサービスを提供しています。顔なじみのスタッフが支援するため安心感があり、通いの延長、急な宿泊にも柔軟に対応できます。
事業所名	ドリームハウス聖恵	管理者	田井由香		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	1人	1人	1人	1人	0人	3人	0人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 改善計画を基に課題解決に取り組んでいきます。 継続して自己評価の取り組みを続けていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員全員で自己評価に取り組み、個々に感じる「できている点」「できていない点」を共有しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価が抽象的で改善計画に反映されていない。 出来ていない項目の原因分析し改善計画に盛り込むべき。 改善計画に期間を設定し、出来る事から実施すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> 実施できていない項目の原因分析し、具体的な改善計画にします。 改善すべき事項については、期間を設定し出来る事から実施します。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 看板設置へ向けて計画を進めていきます。 ドリームハウス聖恵を外部に知ってもらうために、地域へ出向く機会を増やしていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> 看板の設置は実現できませんでしたが、現在、法人に看板設置を提案し、実現に向けて協議中です。 新型コロナウイルス感染症対策のため地域への働きかけはあまりできなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所は明るく、季節感のある装飾をしています。 地域の方に知って頂き、来て頂くための広報活動としても看板は必要です。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所を明るく、快適に過ごせるよう保ちます。 看板は、令和6年度中に完成させます。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> パンフレットの掲示、ドリームハウスの現状報告へ他事業所を訪問していきます。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所のパンフレットを、病院地域連携室や居宅サービス事業所等に配布し空き情報を伝えています。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所のサービス内容が市内に知られていない。 パンフレット等を作成し回覧等いろいろな媒介を通じてPRすべき。 地域の人に知って頂く努力をすべき。 行事等に参加するなど関わりを持っていくべき。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所紹介パンフレットを作成し、自治会等に配布します。 ボランティアの受け入れを再開し、地域の方との交流を進めていきます。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> 利用者が地域と関われる新たな機会を探り、行事や祭りへの参加を継続して行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症対策のため制限があり、地域のイベントは希望者のみドライブで参加してもらいました。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ前に参加していた地域のイベントに利用者が参加してはどうか？ 近隣の黒滝ホームさんに地域交 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所から利用者が地域のいろいろな行事に参加できるようにします。また黒滝ホームさんに協力して頂けるように依頼します。

			流について教えて頂いてはどうか？	
E. 運営推進会議を活かした取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな委員を迎え、様々な視点からご意見を頂き、課題改善に取り組めます。 ・竹原市の生活支援コーディネーターへ協力を依頼していきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議で様々なご意見をいただき、課題改善の参考にさせていただきます。 ・竹原市の生活支援コーディネーターへ協力を依頼できませんでした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の取り組み・活動はわかりやすい。 ・生活支援コーディネーターに協力依頼する目的は何か？ ・家族の出席は、どのように決めているのか？ ・地域住民の方の出席は、複数でもいいのではないかと？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・会議で意見、アドバイスを頂き運営に反映させていただきます。 ・地域密着型事業として会議を有効に活用していきます。 ・会議の参加者の選任・人数については基準と照らし合わせて検討していきます。
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> ・災害マニュアルについて見直し、検討していきます。 ・法人の感染症対策委員会や行政と連携して、新型コロナウイルス感染症対策を実施していきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害マニュアルについては見直し検討中です。 ・避難訓練を年2回実施しましたが、運営推進会議の中では報告のみとなっています。 ・新型コロナウイルス感染症等について、行政および法人の感染症対策委員会と連携しながら対応しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一度防災計画を拝見させて頂きたい。道が狭いから心配。 ・地域と連携しての避難訓練や防災訓練について協力依頼をしていかなければいけない。 ・シュミレーションや地域の方をまじえた訓練が必要ではないかと。 ・災害時事業継続計画(BCP)の立案が義務付けられている 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の防災マニュアル、計画、BCPを委員に見て頂き確認して頂きます。 ・次回以降の避難訓練には近隣の自治会に案内文を出して協力頂き、一緒に避難訓練します。 ・感染症対策は継続実施します。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5 年 10 月 20 日 (15:30 ~ 17:30)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 11人

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3 人	8 人	1 人	0 人	11 人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none">職員間のコミュニケーションを積極的に行い、ミーティングを質の良いものしていく。利用者、家族との信頼関係を築けるように職員から関わりを持ち、本人の思いも汲みとれる様に働きかける。利用初期の利用者間に入りコミュニケーション状況等の観察を行う。職員間で本人の思いや情報を共有し支援内容を検討する。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none">これまでよりもミーティングの質を高めることが出来た。積極的に、利用者・家族と関わりを持つように心がけたが、信頼関係を築くのに、時間がかかることもあった。利用前に情報を得て、コミュニケーション状況等の観察を行うことが出来た。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	3	7	1	0	11
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	9	0	0	11
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	2	8	1	0	11
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	3	7	0	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">利用開始前に情報収集し、事前に疑問点などは書き出し、日々の情報はミーティングや記録で共有している。事前訪問・面談・見学等で家族からのニーズを得てアセスメントし、本人の思いや情報を共有し、支援に活かしている。本人がまだ慣れていない時期には、情報を基に積極的に声をかけるなどして関わり、関係作りを行っている。本人・家族の訴えをしっかりと受け止めるようにしている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">情報確認は行えているが、職員全員に周知する前に利用開始になることもあり、不十分なところがあった。家族の意向が主になることがあり、本人の思いが計画に反映しづらく、利用が始まってみると印象が違うことがある。声掛けや気遣いが、足りていないと感じることもある。利用初期には、小規模多機能で出来るサービス内容が家族に伝わっていなかったことがあった。急な泊りや利用変更ができると伝わってなかったことがあった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none">事前訪問・面談・見学等で家族からも情報収集を行い、アセスメントし職員間での共有し、支援内容を決定していく。普段から利用者・家族と何でも相談し合える関係性を作り、急な利用変更の対応等利用前に確実に説明します。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5 年 10 月 20 日 (15:30 ~ 17:30)

2. 「～したい」の実現
(自己実現の尊重)

メンバー 11人

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	9 人	1 人	0 人	11 人

前回の改善計画
・利用者本人の「～したい。」に気付き、個々の目標を職員全員が把握し、その達成へむけ、意識して日々の支援を行い、「ゴール」に近づく様に努める。 ・ケアプランと個別計画を確認し、モニタリングを実施し、定期的に見直しを行い、支援方法を検討する。
前回の改善計画に対する取組み結果
・担当者を中心に、支援計画の目標達成に向けて取り組んでいます。 ・ケアプランと個別計画に基づいた介護手順書で毎月モニタリングを実施し、その都度見直しを行っている。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	0	8	3	0	11
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	8	3	0	11
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	6	5	0	11
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	5	3	2	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・日々のケアの中で本人の想いに寄り添い「～が食べたい」「～に行きたい」など、その時々希望を、情報収集している。 ・実施したことは記録し、本人の想いはカンファレンスやミーティングで情報共有し周知した。 ・各担当者が毎月モニタリングを実施、職員全員で目を通して見直しをしている。 ・本人の「～したい」に関連付けた日々の介助・レク等を行い、意味のあるケアを心掛けている。

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
	・介護手順書通りサービスを提供しているが、見直しが十分でなく利用者の満足度を十分に達成していないこともあった。 ・目の前の支援に集中してしまい、目標を意識しての支援が十分には行えていないことがあった。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	・利用者のニーズを把握し、状況が変われば介護手順書の見直しをその都度行う。 ・利用者本人の「～したい」の実現に向けて、希望に沿った支援を提供できるよう意識して日々の支援を行う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5 年 10月 20日 (15:30 ~ 17:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 11人

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	0 人	11 人	0 人	0 人	11

前回の改善計画
・利用者の話を傾聴し、些細な事でも情報共有する。
・利用者、家族と信頼関係の構築に努め、安心して利用して頂けるように努める。

前回の改善計画に対する取組み結果
・利用者の話を傾聴し、些細な事でもミーティングで共有できた。
・安心して利用していただけるように、笑顔で対応するよう心がけ、話しやすい雰囲気作りに努めた。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10 個以上把握できていますか？	0	1	8	2	11
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	3	8	0	0	11
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	1	5	5	0	11
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	3	8	0	0	11
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	1	10	0	0	11

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・本人や家族との会話で利用者の暮らしをヒヤリングを都度行っている。
・利用者の気持ちや体調の変化に気づき、ミーティングで共有し記録をしている。
・体調や状況に合わせて支援方法や対応の見直しを行い、即時的に支援している。

できていない点 200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・全ての利用者について以前の暮らしかたの把握に努めているが、すべてのニーズを聞き取ることは難しく、把握しきれていないこともある。
・ミーティングで話をしているが、利用者の声にならない声をすべてを言語化できているとは言えない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
・ニーズのヒヤリングを継続し知り得た情報は、その都度記録に残し、本人に適した介護を提供できるように支援していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5 年 10月 20日 (15:30 ~ 17 :30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 11人

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	1 人	0 人	7	3 人	11 人

前回の改善計画
・地域資源(ボランティア等)の把握に努め、事業所と協働できる事はないか考え、関係機関との連携を深めていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
・地域資源の把握に努めたが、コロナ禍で協働する事は難しかった。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	0	7	3	1	11
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないうちに支援していますか？	2	3	5	1	11
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	0	5	4	2	11
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	1	1	5	4	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・本人や送迎時に家族との会話の中から、以前・現在の日々の様子の情報を得るようにしている。 ・独居の利用者は、遠方の家族や地域との関係が切れないうちに定期的に近況報告を行っている。

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
	・地域との関わりが少ない利用者もいて、全員に関わりの支援が十分にできるとは言い難い。 ・民生委員との接点が少ない場合が多く、地域資源との関わりもコロナ対応もあり、あまり機会がなかった。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	・これまではコロナ禍にあったが、地域資源(ボランティア等)の把握に努め、民生委員、自治会長への発信をはじめ、施設行事への参加、呼びかけやボランティアの受け入れ等以前行っていたことを再開する。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 5 年 10月 20日 (15:30 ~ 17 :30)
------------------	-----	-----------------------------------

5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	11人
----------------	------	-----

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	1 人	4 人	5 人	1 人	11 人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"> ・本人のニーズに合わせた支援が出来る様、職員間で話し合い、家族の意向を含めて考え、家族様に提案していく。 ・新たなボランティアや地域資源の把握、情報収集に努める。事業所単位で困難な場合、法人として働きかける。 ・事業所と地域が協働してできる働きは何かを考え、行動する。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"> ・職員間で話し合い、家族様のニーズに対して適切なサービスを提案している。 ・事業所が地域と新たに協働して出来る働きを考え行動することは、コロナ禍にあり計画、行動に移すことは難しかった。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	1	1	7	2	11
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	2	6	2	1	11
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	2	8	0	1	11
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	3	7	0	1	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ニーズに合わせて社協(かけはし)生活保護(市役所)、大家さん、民生委員 配食業者 介護タクシー 町内の商店 コンビニなど利用者がつながるように支援している。 ・可能な限り急な利用変更にも柔軟に対応し、職員間で情報を共有し家族へ提案している。 	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・資源を使う案があっても実現が難しいことがある。利用者が、現在利用している地域資源しか利用できないが多かった。 ・本人のニーズにできるだけ対応しているが、家族、他の支援との兼ね合いで難しいこともあった。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの活用も含め、竹原市地域資源マップを活用し、利用者のニーズが満足できるよう利用者・家族に提案する。 	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 5 年 10月 20日 (15:30 ~ 17 :30)
------------------	-----	-----------------------------------

6. 連携・協働	メンバー	11人
----------	------	-----

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	0 人	0 人	3 人	8 人	11 人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"> ・新たなサービス機関や自治体の会議に参加する。 ・ケアカンファレンスを中心に会議に参加し、その他サービス機関と情報交換の機会を増やす。 ・利用者の健康に配慮しながら地域のイベントに参加し、地域の方との交流を図る。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍にあり、会議は自粛しており、ケアカンファレンスは書面で行った。 ・地域のイベントには参加しなかった。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか？	0	1	0	10	11
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	0	0	1	10	11
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか？	0	0	0	11	11
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	0	0	0	11	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・主治医・医療機関・訪問看護・福祉用具貸与事業所とは、機会あるごとに情報共有している。 ・地域の祭りに希望者のみ見学参加できた。 ・感染防止の為、自粛中である。 	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ対応のため一部のサービス機関以外は、会議を自粛し、電話や書面での情報交換にとどまっていた。 ・イベントや面会、地域住民との交流は、感染防止の為、制限があり積極的に行えなかった。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と連携を取って会議を実施する。 ・職員が、会議に参加できるようにシフト調整する。 ・地域行事・イベントに参加していく。 ・地域住民が事業所に訪れやすいようにPRしていく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5 年 10月 20日 (15:30 ~ 17 :30)

7. 運営

メンバー 11人

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	0 人	1 人	5 人	5 人	11 人

前回の改善計画
・事業所として、地域への情報発信、情報収集を行い、交流を促進する。
・地域活動に参加できるよう職員間で計画、立案を行い、実施する様に努める。

前回の改善計画に対する取組み結果
地域への情報発信、収集、交流は十分ではなかった。このことについての職員間の計画立案も少なかった。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか？	0	5	4	2	11
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	2	5	2	2	11
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	2	1	2	6	11
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	0	0	4	7	11

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・職員間で意見や苦情をミーティングで共有し、できるだけ支援に反映する方向で取組んでいる。
・難しいところは、代替案を提案するようにし可能な限り応えるように努めている。

できていない点 200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・運営推進会議以外で地域の方から意見を聞く機会がない。
・地域の方との関わる機会が少なく、どのようなことを行っているのか分からず、協働出来ていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
・年度内にパンフレットを更新して、各関係機関に配布し、事業所を知っていただく
・地域活動に参加できるよう職員間で計画、立案を行い、実施する
・毎月職員に事業所の運営状況についての説明を行い、情報共有・意見交換できる場を作る。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日

令和 5 年 10 月 20 日 (15:30 ~ 17:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー

11人

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3 人	6 人	2 人	0 人	11 人

前回の改善計画

- ・研修会、勉強会に職員が参加し、知識、技術の向上を目指す。
- ・ミーティングを活用し、ヒヤリハットについての話し合いを定期的実施する。
- ・ヒヤリハット事例について職員間で検討する機会を増やし、個人の意識を高め、再発防止に努める。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・毎月の研修会、勉強会に参加できた。不参加の職員には、書面で伝達を行った。
- ・ヒヤリハット事例について、研修会で学ぶことが出来たので、毎月検討する機会も増えた。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	2	6	2	1	11
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	5	1	3	11
③	地域連絡会に参加していますか	0	1	1	9	11
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	5	2	3	11

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・法人内研修・職場内研修・オンラインに参加し、知識を深めた。
- ・職員のスキルアップに努め自身を振り返ることができ自分の偏った考え方だけではなく、他職員の方の考え方や、自分の改善点に気づくことが出来た。
- ・事故につながるヒヤリハット事例については、ミーティング等で検討する機会を持ち、その日のうちに改善策を共有している。
- ・再発防止の為、事業所として積極的に対応している。

できていない点

200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・外部研修には、コロナ対応のため参加できていない。
- ・地域連絡会については、事業所単体で参加することが勤務シフトの関係で困難である。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

- ・勉強会や研修会への参加を継続する。
- ・積極的にヒヤリハットを挙げて情報共有し、日々の危機管理に対する意識の向上を図り、リスク回避を行っていく。
- ・ヒヤリハット事例は、ミーティングで共有し、改善対応の継続をしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5 年 10 月 20 日 (15:30 ~ 17:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 11人

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	9 人	1 人	0 人	11 人

前回の改善計画

- ・個人情報、プライバシーの保護について職員間で共通の理解を行い、管理できる様徹底、定期的な見直しを行う。
- ・言葉遣いや不適切なケアを十分に注意し、ケースによってミーティングで話し合いを行う。職員同士で指摘し合える関係を作り、利用者が安心して利用できる事業所を目指す。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・個人情報、プライバシーの保護について意識して取り込むことが出来た。
- ・言葉遣いや不適切ケアについて話し合いを持つことが出来た。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	2	5	3	1	11
②	虐待は行われていない	6	4	0	1	11
③	プライバシーが守られている	4	7	0	0	11
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1	0	0	10	11
⑤	適正な個人情報の管理ができている	4	7	0	0	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・身体拘束、虐待は行われていない。毎月研修、勉強会で十分理解し支援を行っている。 ・人権やプライバシーを意識してケアをするように心がけて支援している。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・職員の認識不足で安全のための配慮が身体拘束・虐待につながると勘違いしたことがあった。 ・成年後見制度を必要とされる方がおらず、職員の制度への理解や知識が不十分である。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・身体拘束、虐待について全職員の研修や勉強会を実施する。 ・ヒヤリハットの事案をミーティングで検討し、即対策をとり、評価していく。 ・成年後見制度についての勉強の機会を作り、制度の理解に努める。今後必要が生じた場合、的確なアドバイスができるよう職員の資質向上に努める。	